

おおまちのはたち 2023

実行委員会

対象年代 ▶ 2002年度(平成14年度)生まれ
(2002年4月2日~2003年4月1日生まれ)
該当者数 ▶ 65人(男性39人、女性26人)
出席者数 ▶ 49人(男性27人、女性22人)

はたちの皆さんが生まれた2002年の出来事

【全国・海外】

- 2002FIFA日韓ワールドカップが開幕
- 多摩川にアゴヒゲアザラシのタマちゃんが出現
- 学習指導要領が改正され、学校週5日制がスタート

【大町町】

- ふるさと農道「杵島北部(大町)地区線」開通
- 緑の少年団結成
- 大町町公式ホームページ開設



式典後の交流会は、実行委員会が企画しました。交流会では、恩師への記念品の贈呈やDVDの上映、タイムカプセルの開封が行われたほか、新企画として実行委員手作りの「フォトスペース」が設けられるなど、再会の喜びをみんなで一緒に共有したいという想いが込められていました。

はたちへ送る式辞

「自らを信じ、努力し続ける」

昨年はサッカーワールドカップが世界中で盛り上がりました。その頂点に立ったのは、MVPを獲得したメッシ選手率いるアルゼンチンでした。

そのメッシ選手の言葉に「努力すれば報われる? そうじゃないだろう。報われるまで努力するんだ」という名言があります。

自らを信じ努力し続けることの大切さを伝えています。何事にも、一生懸命に取り組み、努力する以外にないと、つくづく思います。

若い皆さんには、まだまだ時間があります。信じることのできる自分になるために、自らの人生と向き合い、慌てず、じっくりと、まずはできることから、一生懸命に取り組み、コツコツと努力を重ねながら、自分の人生を謳歌していただきたいと願っています。

大町町長 水川 一哉



大町ひじり学園
卒業から5年



吉村 聖矢 さん
自分の行動に責任を

はたちを迎えての決意は、自分の行動に責任を持ち、自立した人間になることです。大学生になって自分の行動の幅が広がり、興味を持ったことに思っきり打ち込める環境にあります。

しかし、同時に自分の行動に対する責任もあり、後先考えない行動は決して許されることではないと実感しています。

学生であるということに甘えるのではなく、この決意を常に意識することで、将来社会人として生活するための準備を進めていきたいです。

意見発表表

出席者を代表した2人の「意見発表表の一部を」紹介します。



園田 侑夏 さん
多くの人の健康を
食を通して支えたい

幼い頃から食べることが大好きで、調理に携わる職業に就きたいと思い、専門学科のある高校に進学し、勉強に励みました。

調理師免許を無事取得し、現在は短期大学に在学しながら、栄養士免許の取得に努めています。

卒業後は、病院給食の栄養士として働きながら、管理栄養士の資格取得にも励みたいと思っています。

そして、いつか自分自身でお店を経営し、より多くの人の健康を目に見えない内側から、食を通して支えていきたいと思っています。もし私がお店を出したらぜひ皆さんも来てください。